

定常変種のポストークコレクション（19）



#93

緑色と茶色の同一ポジションにある変種が、たまたまA・B版の入れ替えが発生したために、一枚の切手上に同時に現れたものです（通常は別々に存在）。“ダブル定変”と呼ばれており、上記の入れ替えが単片切手で分かる貴重な例です。

中門に点



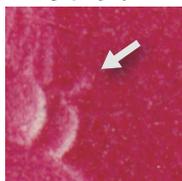
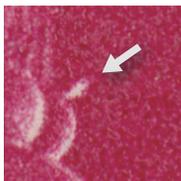
白抜竜



#11

頭から角のような突起が出ており、非常にはっきりしています。リタッチもかろうじて分かります。あずき色の切手にも見られますが、こちらは早々にリタッチされ（丁寧なリタッチで判別困難）、リタッチ前の白抜は極めて珍しい存在です。

リタッチ



あずき色の白抜



#71

これといった目立つ変種は存在しないようです。以前に薄い白抜きの例が報告されていたので、紹介しておきます。

